

質問 1-10 大戸川ダムに先行して大戸川の河道整備を実施した場合、どのような問題が生じるのでしょうか。

(回答)

- 大戸川の河道整備を行い、氾濫していた洪水が川の中を流れると、その分下流の天ヶ瀬ダムへの流入が早まり、天ヶ瀬ダムにかかる負荷が増大します。
- 天ヶ瀬ダム再開発後であっても、大戸川ダムを整備しない場合は、天ヶ瀬ダムの洪水調節容量が不足します。この状況において大戸川の河道整備を行うと、天ヶ瀬ダムの洪水調節容量がさらに不足することとなり、下流の宇治川・淀川に対して負担となります。

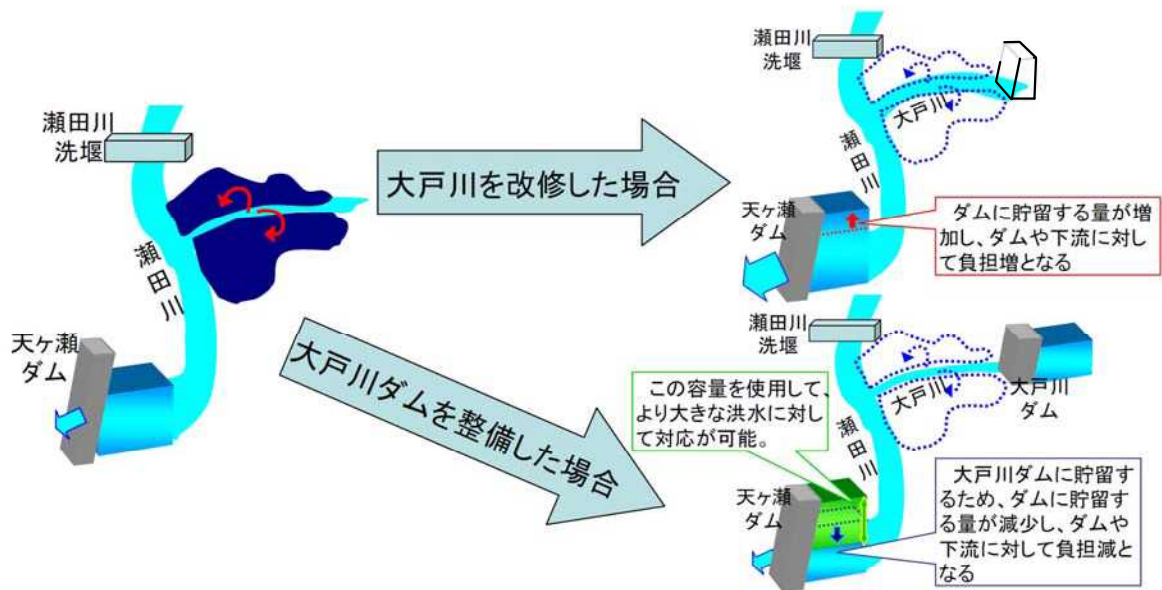


図 大戸川の河川整備を先行した場合の影響

- なお、天ヶ瀬ダムの洪水調節容量を検証した結果、天ヶ瀬ダム再開発、大戸川ダムが完成することにより全ての洪水で容量不足を解消できます。

表 天ヶ瀬ダム再開発・大戸川ダム建設事業の整備効果

		ケース①	ケース②	ケース③	ケース④		
整備状況	天ヶ瀬再開発事業	×	○	×	○		
	大戸川ダム事業	×	×	○	○		
	洪水名	倍率	天ヶ瀬ダム不足容量	天ヶ瀬ダム不足容量	天ヶ瀬ダム不足容量	天ヶ瀬ダム不足容量	
1	枚方 261mm/24h	昭和28年台風13号	1.18	1,039万m <sup>3</sup>	607万m <sup>3</sup>	192万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
2		昭和34年台風7号	1.38	658万m <sup>3</sup>	205万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
3		昭和34年台風15号	1.45	260万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
4		昭和36年10月豪雨	1.35	957万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
5		昭和40年台風24号	1.55	686万m <sup>3</sup>	331万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
6		昭和57年台風10号	1.25	1,491万m <sup>3</sup>	496万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
7	宇治 165mm/9h	昭和34年台風7号	1.54	729万m <sup>3</sup>	355万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
8		昭和36年10月豪雨	1.33	33万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
9		昭和57年台風10号	1.34	1,123万m <sup>3</sup>	186万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
10	加茂 253mm/12h	昭和36年10月豪雨	1.38	859万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
11		昭和57年台風10号	1.38	1,864万m <sup>3</sup>	753万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
12	島ヶ原 238mm/9h	昭和28年台風13号	1.21	1,037万m <sup>3</sup>	606万m <sup>3</sup>	205万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
13		昭和36年10月豪雨	1.42	691万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
14	羽東師 247mm/12h	昭和47年台風20号	1.53	727万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
15	請田 208mm/9h	昭和28年台風13号	1.20	969万m <sup>3</sup>	558万m <sup>3</sup>	50万m <sup>3</sup>	0万m <sup>3</sup>
洪水調節不能洪水数				15	9	3	0

- 注) 1. 「×」は未整備の場合、「○」は整備した場合を示す。  
2. 洪水の規模は、河川整備計画(案)における対象洪水。

(関連資料)

- 平成21年1月7日 淀川水系河川整備計画(案)に関する技術的解説「大戸川ダムに先行して大戸川の河道整備を行った場合の影響」

[http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo\\_sui/p1.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo_sui/p1.html)

- 平成20年11月10日 「喜撰山ダム等既存施設の有効活用に関する検討」記者発表資料

[http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo\\_sui/pdf/kisennyama.pdf](http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo_sui/pdf/kisennyama.pdf)

※上記の資料は、淀川水系河川整備基本方針・河川整備計画策定に向けての取り組みのホームページに掲載しています。

[http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo\\_sui/](http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo_sui/)

※本質問は、平成20年8月25日に開催された滋賀県議会「琵琶湖淀川水系問題対策特別委員会」において、滋賀県から寄せられた質問に対して近畿地方整備局から回答した内容を中心に整理したものです。なお、現在は時点更新も含め内容を精査しており、最新の情報ではない場合があります。